

アクアグラウト工法

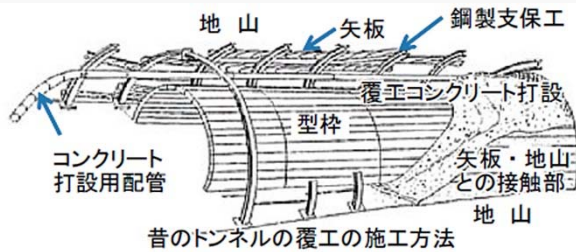
トンネル研究室

概要 既設トンネルの覆工背面に存在する空洞を充填することにより、トンネル耐力を向上させる工法です。エアモルタル等の従来の空洞充填材よりも高流動性を持ちながら、クラックからの漏出や逸走はしにくく、水中不分離性を持った充填材を使用します。

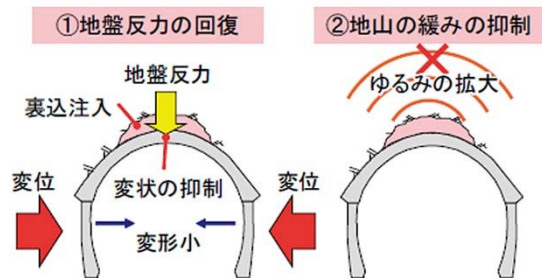
特徴 特殊な吸水性ポリマーを使用した新しい充填材量
 ・圧送する際には高い流動性を保ち、充填後は自立するため限定注入が可能
 ・地下水に触れても材料分離しない
 ・十分な強度でありながら比重は1.3～1.4程度と軽量
 材料と水を混ぜ合わせるだけであり、施工性および施工管理が簡易

工期と工費 施工条件により工期・工費は変わります。詳細は別途ご相談ください。

問合せ先 清水建設(株)土木技術本部 TEL:03-3561-8673 FAX:03-3561-8673



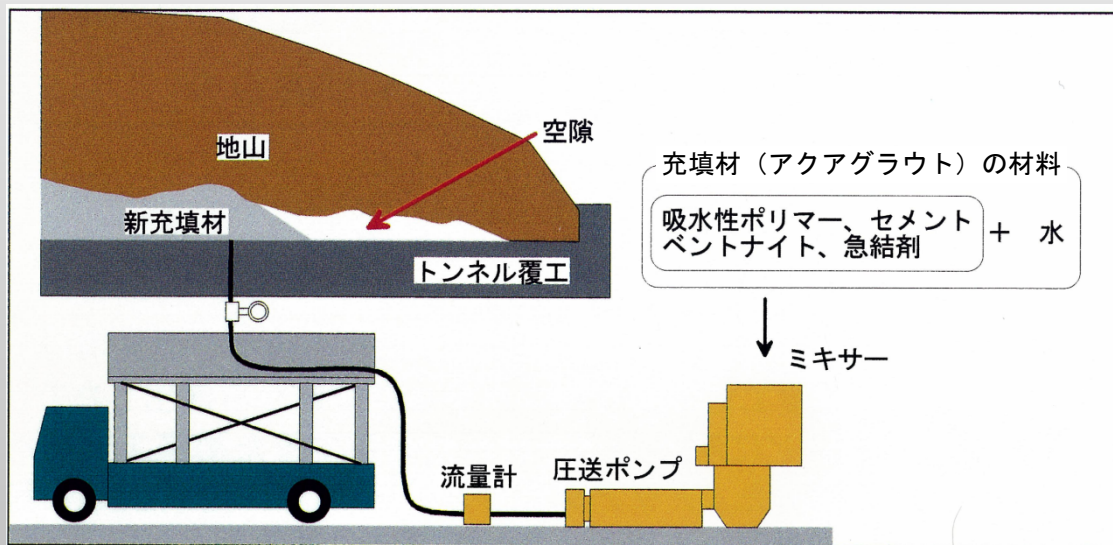
充填材の性状（左：振動前、右：振動後）



背面空洞充填の効果



施工状況



アクアグラウト工法の施工概要図

◆ 本工法は、清水建設、日本触媒、ラサテックとの共同で開発したものです。
 (特許第3492501号、特許第3447529号)